

●マフラー

販売各国における騒音規制に対応しつつ、エキゾーストサウンドの質感との両立を図るため3.0Lのマフラー容量を確保し、テールパイプをφ28.6mmとすることで今までのミニバイクにはない太く魅力あるサウンドを演出しました。

エンジン始動後のキャタライザー早期活性を促し、排出ガスの浄化効率を高めるため、高い温度を維持できるエキゾーストパイプ内にキャタライザーを配置しました。キャタライザー前のテーパ状拡管部を長くすることで排気をキャタライザーに均等に当て、排出ガス中のCO、HC、NOxを効率よく浄化し、排出ガス規制に適合させています。

●マフラープロテクター

より快適なパッセンジャーの熱居住性を配慮し、マフラーからの熱を低減するプロテクターには2層構造を採用しました。金属製の内側カバーでマフラー外筒からの熱を低減し、外側のプロテクターをより熱伝導率の低い樹脂製としました。

●マニュアルクラッチ4速リターン式ミッション

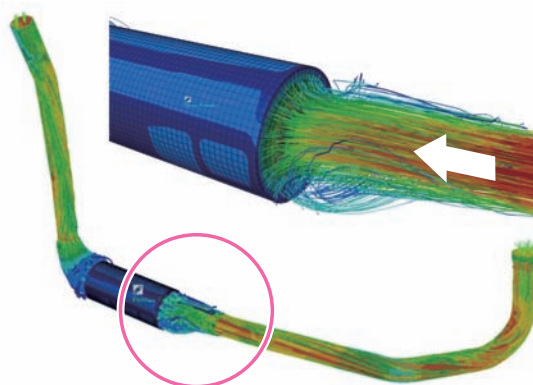
自分の意志のままに操る、モーターサイクルならではのファンライディングを味わっていただくため、GROMにはマニュアルクラッチを採用しました。

ミッションは、扱いやすさに定評のあるWave125iをベースとして採用し、変速比及び1次減速比をWave125iと同一の仕様としました。2次減速比は、ドライブsprocket側をベースの14Tから15Tに、ドリブンスprocket側を36T から34Tへと変更しました。

上記の変更と専用設計された12インチホイールとの組み合わせにより、トータルで5%のローレシオ化を図り、高いギアでの低速走行も可能な力強いトルク感をそなえた、市街地での扱いやすい走りを実現しました。

チェンジ機構は大型モーターサイクルと同様のリンク式に変更するとともに、チェンジパターンをロータリー式から1ダウン3アップのリターン式に変更しました。また、スプリング荷重のセッティングによりストロークとチェンジ荷重の最適化を図り、節度感のあるチェンジフィーリングを実現しました。

■キャタライザーの
排気ガス当たり均一度解析図



■マフラープロテクター構成図

